

## —空襲で家を焼かれ食べ物もなくお腹を空かしたくらし—

### 平和の尊さ感じた「親と子で平和を考えるつどい」

少し雨が降った8月22日の午後、「親と子で平和を考えるつどい」が市民会館キラリエホールで開かれ、幼児や小学生、お父さん、お母さん100人余りが来られました。

会場では、戦時中の学童集団疎開の写真展や、8月の広島平和記念式典に千羽鶴を携えての参列や、平和記念資料館など訪問の壁新聞。そして7月、市内小学生が大阪城周辺の空襲被害跡や、ピースおおさかを見学した平和バスツアーの壁新聞が展示されていました。平和バスツアーに参加した2人の小学生は、「大阪城の石垣が戦争の爆風で傾いたのを見たときびっくりした。」「こんな戦争を二度と起こさないように私たちに何ができるか考えてみたい。」と、つどいの壇上でそれぞれ感想を述べられました。

その後、アニメ映画「焼跡の、お菓子の木」が上映されました。太平洋戦争の終り頃の話。子ども達は空襲で家を焼かれ食べ物もなくお腹を空かして、それでもたくましく生きています。しかし相次ぐ空襲は、寄り添って生きてきた子ども達の家族を殺し、子ども達をも飢えと疲れで死に追い込みます。焼け野原に残った大きな木の根元で5人の子ども達は夢を見ながら亡くなります。意識が遠のく夢の中で、子ども達はバームクーヘンとお菓子に変わった大木の枝や葉をおいしそうに食べ、まるで永遠に空腹を知らない子のように、幸せに遊び回りながら映画は終わっていきます。

腹話術を使って楽しく進行するなど、全体的には子どもたちにもわかりやすい構成だと思いましたが、果たして子どもたちにはどう映ったのか。平和の尊さを訴えた映画が家で見るテレビアニメの延長にならないよう、家に帰ってからも70年前に生きたおじいさん、おばあさんの苦労話も聞けたらいいなあ、と思いながら会場を後にしました。(レポート：松ちゃん)



#### 参加者からのアンケート

- せんそうのことわ。こどものころからしっていたけど、このえいがおみてせんそうわもうしてわいけなとおもいました (6歳)
- いえがやけているところかなしかった。へいわでよかったとおもいます。(9歳)
- 私は今80歳、6歳の頃戦争を経験しています。学校裏のどんぐり山で勉強したことを思い出しました。(80歳)
- 最近子どもも戦争のことを知るようになってよく話をします。平和が続いて欲しいです。(年齢記入なし)

※表記については原文のまま引用しています。

## 新しい愛称決まりました

「人権啓発ネットワーク大東」機関誌第三号で、本機関誌の「愛称」を募っておりまして、七点の応募がありました。

本ネットワークの「広報委員会」では、いろいろな角度からその愛称の持つ意味あいを協議させていただきました。

協議の結果「ぬくもり」を探りあげることになりました。まずは、ご報告いたします。お寄せくださった方々にお礼を申し上げます。

### 愛称《ぬくもり》

幼児虐待やいじめが、毎日のように新聞を賑わせてる嫌な世の中にあって、それでも人を愛し、人に癒しの心をつながせているのが、人の《ぬくもり》だと思ふのです。

寒い日の家庭のぬくもり。子が抱かれたときに感じる親のぬくもり。寂しいときにふと知り合った人の優しさと心に届く人のぬくもり。《ぬくもり》を大東市に住む私たちを、なぐ宝物として、お互いを大切に思う文化のある町をめざしたいとの広報委員会みんなの気持ちで、採用させていただきました。

【広報委員会】

## ● 会員募集

### 活動内容

- 人権意識をたかめるための研修会などへの参加・参画。
- 人権尊重の理念を広く市民に広げるための啓発・広報活動など。
- 会費等はありません。

## ● ヒューマンライター

大東市で人権推進につながる取り組みを行っている方々の取材をしていただける方(ヒューマンライター)を募集します。

【応募方法】様式は問いません。

ご住所 お名前 電話番号を記載の上 郵送、FAXでお願いします。  
〒574-8555 大東市谷川1-1-1  
大東市役所 (市民生活部 人権室内)  
人権啓発ネットワーク大東事務局  
TEL : 072-870-0441 FAX:072-872-2268

## 編集後記

第4号の「人権啓発ネットワーク大東機関誌」を発行することができました。

ぜひとも、一読していただき、本市の人権問題への取り組み等についてご理解いただけたらと思います。また、皆様からのご応募いただいた愛称の中から、本機関誌の愛称を「ぬくもり」に決定いたしました。これからも本機関誌を通じて、大東市のあったかい「ぬくもり」のある取り組みをお届けできたらと思います。

(広報委員会 イズちゃん)



# い い となりの活き生きサン

ここでは、大東市の人権推進につながる取り組みを行っておられる方々や団体の紹介をさせていただきます。

## 地域再発見から、ゆるキャラ「ほじょ山さくら」創作へ —今、北条が熱い！！—



平成25年の北条小学校の3年生の総合学習の取り組みから話が始まります。その時点で3年生たちは、校区内の施設・お店・公園などの情報を書き込んだ「北条マップ」を完成させていました。その発表会に地域の方が講師役と呼ばれ、子どもたちに「自分たちの住む町を愛してほしい。」「生まれ育った場所に親しみをもってほしい。」「北条の町の良さをもっと多くの人に知ってほしい。」と熱く語り、最後に「北条のキャラクターを考えてくれないか。」と提案します。そこから子どもたちの心にさらに火がつかます。3年生がいくつかのグループに分かれて再度地域に出向き、7組の人にインタビューを行いました。それぞれの方から「北条は素晴らしいところ。」「ますますいい町になってほしい。」ということ聞き取り、子どもたちはさらなる発見をしていきます。

「自分たちの住む町に、すばらしいものがいくつもあったんや。」と驚き、「やっぱり北条は最高！！」と思い始めます。いよいよ「最高の北条！！」を具体的に形にする動きがスタートしました。子どもたちがゆるキャラ（以後「ほじょ山さくら」）のデザインを考え出します。いくつかの候補ができ、北条小学校の全児童、保護者、全教員で投票して決めました。とりわけ、素晴らしいのが、ほじょ山さくらのプロフィール（抜粋）です。

### ＝ほじょ山さくらプロフィール＝

- 特技・・・北条太鼓をたたくこと
- 好きな食べ物・・・北条の取れたて野菜
- 夢・・・人がずっと仲良く協力できる町にしたい  
自然を大事にしてもっときれいな町にしたい
- 仕事・・・北条のいいところを訴えること、もっといい町にするお手伝い



そして、小学生が考えたデザインを北条中学校の美術部の協力を得てさらに容姿を整え「ほじょ山さくら」が完成しました。いろいろな人が知恵を出し、協力することで、8種類の缶バッジ、等身大の看板が完成し、運動会の表紙に使われ、地域の防犯ポスターにも使われました。近い将来いわゆる「着ぐるみ」も作られる予定とか。区長さんや北条人権文化センター、北条青少年教育センターも協力していきます。まさに地域挙げての取り組みとなっていました。北条小学校の校長先生が「本校の教育目標『ふるさとを愛し 学び合い 認め合い 高め合う子どもの育成』を正に具現化する取り組みとなりました。」と話されていました。地域の方の思いが子どもの心に火をつけ、そこからの子どもたちの本気が思う存分発揮された結果と言えます。

そして、北条小学校が本気である証拠に、この取り組みは次の学年にも引き継がれたのです。今年度は北条の歌「北条ってええねん！」が次年度の3年生と北条小学校の先生たちの協力で完成しました。「北条の良さをもっと知ってもらうために北条の歌を作ってほしい。」と地域の方の声もあったそうです。スペースの関係で1番のみ紹介します。

♪私たちの住む町の伝えたいことがたくさんある  
いつもたくさんの人たちがこの町に来ればいいのにな♪

1. 春 観音さんのお祭り 出店がいっぱいならぶよ  
秋 だんじりのお祭り 気持ちがワクワク踊りだす  
地域のみんなでだんじり 曳くよ かけごえ合わせて  
びっくりするくらい大きいから 曳くよ  
気持ちを合わせて 太鼓がひびくよ ドンドンドン  
心にひびくよ ドンドンドン 北条の町にこだまする  
世界にひびけ太鼓の音色 みんなで心をひとつに 未来を一緒につくろうよ  
やさしい心をつなげよう 笑顔で暮らすよ北条



私はこの話を聞いて大東市の他の地域にもまだまだ「宝物」がたくさん埋まっていて、それを子どもたちと「発掘する」ことで北条だけでなく、大東市を愛する人間が増えていけば最高であることと、本当の「宝物」は人と人がつながり、力を合わせて心の底から愛せる「ふるさと」をもてることだと思いました。

(レポート：ガンちゃん)

## —相談できる場所づくり—

ただただ聞いてくれる大人が必要

「自分のことを一番心配してくれている親には、いじめのことを相談できないものなんです。」と、いじめの研修でこんなことを聞きました。いじめられている子どもがまず望むのは、ただただ聞いてくれる大人だそうです。親と子を「縦の関係」とするならば、友人の母、父とは「斜めの関係」と言えるでしょうか。「ちょっと冷たいジュースでも飲んでいく？」と子どもの友だちに声かけしてみてもいいでしょう。「あ、この人となら悩みを言えるかも。」と思うかもしれません。地域の方なら、近所の子どもに「おはよう。」「おかえり。」と日常的に声をかけていると、「近所の話しやすい人。」になれるかもしれません。共に、一朝一夕に築ける間柄ではありません。でも、そんな「あったか光線」（互いを思いやる気持ち）が飛び交う町にしていくことは町全体が温かくなることにもなり、それは回りまわって自分の幸せにつながるのでは。

投稿 ガンちゃん

